

平成23年度南魚沼郡市教育振興会道德部の取組

南魚沼郡市教育振興会道德部部长
南魚沼市立三用小学校長 渡邊 靖

1 はじめに

南魚沼郡市教育振興会道德部では、年度初めに「心に響く道德時間の工夫」を研究主題とし、今年度は重点教科でもあることから、例年行っていた実践発表から授業研究及び研究協議会を実施することとなった。また、他の教科領域同様に新学習指導要領にかかわる内容について新教育課程研究集会（伝達講習会）を実施した。

2 新教育課程研究集会（伝達講習会）の実施（23,8,19）

中越教育事務所、指導主事よりご指導いただいた内容を伝達

(1) 学校評価のあり方について

(2) 道德と「言語活動の充実」について

① 資料の選択・資料の提示の仕方

○クラスの実態を考慮して教材・題材を探す。

○資料を全部読まずに途中で切って考えさせる展開を考えることもある。

② 言語活動の充実

○話す前に書く活動を取り入れる。

○一人ひとりが発表して終わりではなく、教師が話をつながなくても子ども同士でAさんの意見を聞き、Bさんが意見を述べていくような子どもが語りたくなるような授業を考える。

(3) 指導技術の面から

① 教師がいちいち繰り返さず、子ども自身でしっかり聞かせる。

② 学習のルール

③ 間違ってもいい雰囲気・支持的風土づくり

④ 安心して話ができる集団づくり

⑤ 教師の温かい言葉かけ、居心地のよいクラス

3 授業研究及び研究協議会の実施（23,11,11）

(1) 六日町小学校6学年、主題名 先人の努力、〔4-(7)郷土愛〕、資料名 「米百表」

(2) 本時のねらい

先人の深い愛情を知り、自らも郷土愛をもって郷土の中でよりよく生きる心情を育てる。

(3) 学習活動

| | |
|-----|---|
| 0 | ○小林虎三郎に藩士が切りかかろうとしている写真を見て、何をしている場面か想起する。また当時の武士と町人の立場や苦労をおさえる。 |
| 10分 | ○米が届いた時の長岡市民、小林の思い、小林への風当たりはどうだったか ○みんなが小林の立場ならどうするか。 |
| 20分 | ○小林が反対されても学校を建てることをあきらめなかったのはなぜか。 |
| 30分 | ○「長い目で見る百俵の米」とは何か。 |
| 35分 | ○自分が郷土に対して何ができるのかを心のノートにまとめよう。 |
| 40分 | ○地域の先人たちの努力や功績について思い出す。 |

(4) 協議

① 視聴覚的効果について、虎三郎の表情が見れる、また切実感がある資料で大変よかった。

② 郷土愛を育む授業展開について、虎三郎の郷土愛から、子どもたちへの郷土愛へつなげることが大切である。一人ひとりが考えをもつことができた。付箋の活用はよかった。

(5) ご指導（南魚沼市内小学校長より）

① 根を育てれば、樹は育つ。実（学力）、茎（体力）、根（豊かな心）

② 道德の時間は、「生き方を学ぶ時間」

③ 気持ちを問うだけでいいか。→共感を乗り越える。

考えを出させるだけでいいか。→発表を乗り越える。

④ 資料分析

○資料を区切る。起承転結 ○気持ちや迷いをチェック

○キーワードを探す。 ○資料の活用型を決める。 ○生き方を探る

⑤ 本時で学ぶ